

高品質・高速 RIP SDK



HARLEQUIN® Core SDK v14

特徴：

- 高品質・高速 RIP SDK（開発者用）
- 業界を代表する印刷機メーカーで多くの採用実績
- 処理速度を更に加速する仕掛けを搭載:
Scalable RIP, Parallel Pages, VariData, 自動タイリング
- Windows / Linux / macOS に対応
- 広範な出力カラースペースとピクセル深度に対応
- PDF, PostScript®, EPS, DCS, TIFF, JPEG, BMP, PNG
- イグザンプルソフトウェアがソースコードで提供される
- 日本人スタッフが日本語でテクニカルサポート
- 評価は無償（機密保持契約書が必要）



HARLEQUIN® Core SDK

Harlequin Core SDKは、RIP (Raster Image Processor) のSDKであり、PostScriptやPDFといったページ記述言語を、インクジェットプリントヘッド、トナーマーキングエンジン、レーザープレートセッターなどのデバイスが扱える形式に変換するための開発者用ソフトウェアです。出力は、TIFFなどのラスターファイル形式での出力は勿論の事、印刷機に直接転送できるラスターデータストリームの場合もあります。出力形式は、実装毎に設定できます。

広範なアプリケーションで正確で信頼性が高い

Harlequin Core SDKは、複雑なコーディングやマーキングから、トランザクション、トランスプロモとダイレクトメール、通常の商業印刷、出版、書籍、ラベルやパッケージから産業印刷や機能性印刷（装飾、テキストスタイル、陶器、プリンテッド・エレクトロニクス、製品装飾など）に至る広範な印刷分野に最適です。PostScript、EPS、DCS、JPEG、PNG、BMP、TIFF、PDF、PDF/X、PDF/VTのネイティブ解釈が含まれるため、ターゲット市場で使用されるワークフローがどのPDLを使用しても、正確で

予測可能な画像出力が得られます。HarlequinのPDFレンダリングの忠実な実装は、Adobe® Creative Cloud® (Illustrator®、InDesign®、Photoshop®)、Adobe Acrobat® DC、Esco、HYBRID SoftwareのSTEPZ/PACKZなど、さまざまなワークフローが生成するファイルを直ちに扱えることを意味します。Harlequin Core SDKは、プリプレスおよびデジタル印刷のOEMが、プリプレスワークフローまたはDigital Front End (DFE) に統合できるように設計されています。

何故HARLEQUINなのか

貴社DFEコストを低減します

- 利用可能な最速のRIPエンジンであるHarlequinは、ハードウェア要件を低減します。
- LinuxとWindowsで利用できるため、ライセンスコストを低減できます。
- 過度のRAM要件はなく、特別なハードウェアは必要ありません。

迅速な製品化

- シンプルなAPIで、実装が簡単です。新しいソリューションを数週間で稼働できます。

一貫性ある高品質出力

- Harlequin Core SDKは、高品質出力を提供することが広く知られております。ネイティブPDF、PostScript、EPS、DCS、TIFF、JPEG、PNG、BMP、PDF/X、PDF/VTを含むさまざまなファイル形式を正しくレンダリングし、共通のレンダリングエンジンにより制御と整合性を向上させます。

パッケージとラベル印刷機に最適

- テクニカルおよび輪郭情報のエクスポート、PDF Processing Steps (ISO 19593-1) のサポート、白やニス用にオーバープリント設定の上書き、ブランドカラーマッチング、そしてフレキソ、オフセット、デジタルプロダクション用のスクリーニングオプションを含め特別な機能に対応しております。

スケーラブル

- さまざまな設定が可能のため、多くのデジタル印刷機に対応可能な単なるレンダラではありません

- Harlequin ColorProカラーマネジメント、輪郭情報のエクスポート、スクリーニングオプション、欧文フォントエミュレーションなど、出力品質を向上させる強力なプロダクションオプションが利用できます。

実績ある技術

- Harlequinは1988年にプロダクションシステム内で初めて採用されました。その後の世代を経て、今やHP Indigo、HP PageWide、Roland、Durst、Canon、Memjet、その他多くの企業のデジタル印刷機の心臓部で使用されています。

高度に設定可能なコア

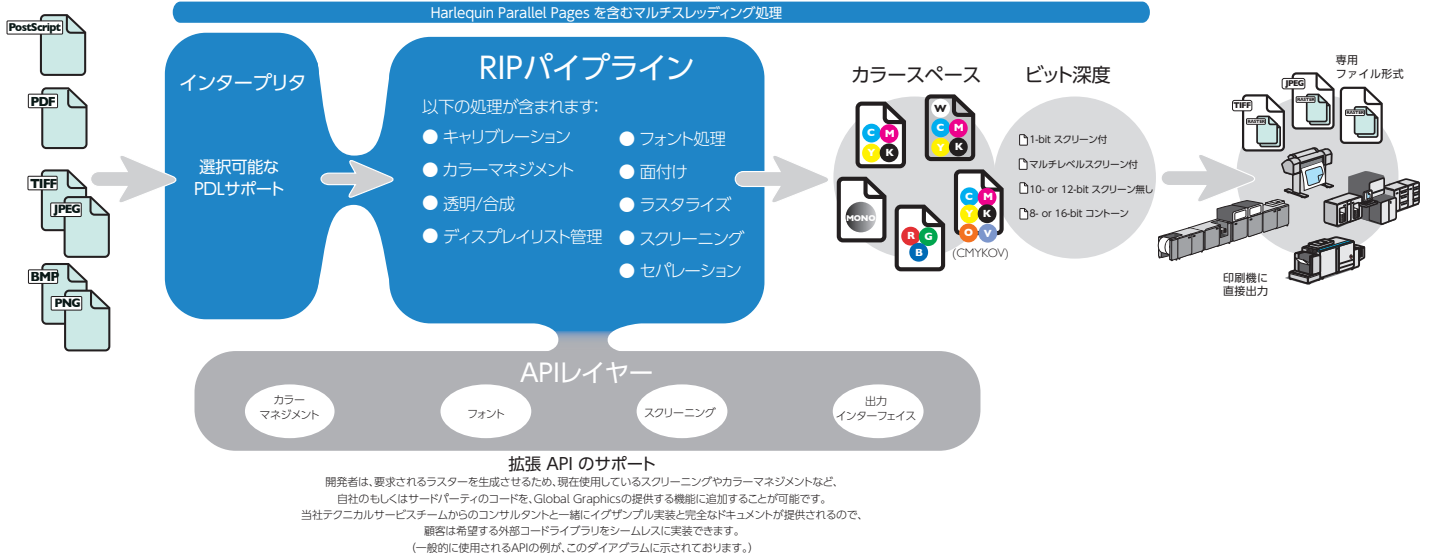
印刷ジョブ配信
RIP前の形式変換不要のメジャーなPDL形式の混合配信

マルチPDL解釈
すべてのPDL形式もしくはPostScript、PDFのネイティブPDL解釈

RIPパイプライン処理
フレキシブルなプリプレス処理用のカスタマイズ可能な処理。Global Graphics提供コード、もしくは顧客（もしくはサードパーティ）のIPをAPIレイヤーを通して使用することも可能。

出カラストラ
設定可能な出力形式、カラーモデル、インターレーピング、そして解像度

ポストラスター形式
ラスター出力のオプションラッパー



PDF 2.0サポート

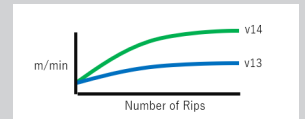
Harlequin Core SDK 14は、新しいPDF 2.0標準（ISO 32000-2：2017）の印刷に関連するすべての機能をサポートしています。これらには、AES-256暗号化、暗号化用のUnicodeパスワード、出カインテント、黒点の補正の制御、ハーフトーン原点が含まれます。



プロダクション印刷用のPDF 2.0の詳細に関しては、www.globalgraphics.com/pdf-2-0-white-paper

v14の強化点

- RIPファーム用に共有HVDストア方式を改善
- ラベルとパッケージジョブのパフォーマンス向上
- ステップ&リピート処理の最適化
- より優れたパフォーマンスのスケラビリティ
- RIP数とスレッド数により、よりニアにパフォーマンスが向上



- 最新CPU用にコードを最適化（64ビットのみ）
- いくつかの古いアルゴリズムのリライト
- SIMD, AVX, AVX2などのCPUの拡張命令セットに対応
- その他の主な変更点
- PDF/X-6対応
- CxF対応：スポットカラーをより正確に表現し、オーバープリント時の色合いをより正確にエミュレートできます。
- PDF/VT-3対応：PDF/VT-3はPDF/VT-1からのアップデートで、PDF/X-6およびPDF 2.0をベースに構築されています。PDF/VT-3であるためには、PDF/X-6である必要があります。
- PDF 2.0仕様準拠性の向上：PDF 2.0の仕様はPDF AssociationやISOなどの標準化団体からの提案で適時更新されており、当社のRIPは仕様準拠を最新に維持するためにRIPを随時更新しております。

コーディングとマーキングから、トランザクション、...

カラー

Harlequinは、20年以上前に開発されたカラーマネジメントを搭載する最初のRIPの1つでした。以後そのカラー機能は継続的に強化され続け、今や世界のプロダクション印刷のニーズに応えています。

Harlequinは、拡張色域カラー（たとえばCMYKOGV）、フォトインク（たとえばCcMmYKk）、産業印刷用の非標準プロセスセット、スポットカラーなどを含む任意の出力色空間にレンダリングすることができます。

ブランドカラーは、そのままレンダリングすることも、ルックアップテーブルや、より複雑なOEM提供アルゴリズムを使用して、利用可能な着色剤でエミュレートすることもできるため、ライブ透明と一緒に使用した場合でも正しい結果が得られます。

ICCプロファイル

Harlequinの内蔵カラーマネジメントであるHarlequin ColorProは、ICCプロファイルを使用します。デバイスリンクプロファイルを含むICC v4およびv2をサポートします。複数のプロファイルをチェーンして、エミュレーション、インク制限などのほか、出力デバイスの特徴付けることもできます。これにより、新しい媒体をプロファイリングすることと、オーバーインキングを避けるといった役割の分担が可能になります。

特別な要件に応えるために、インテグレーターが代替カラーマネジメントモジュール（CMM）を追加することもできます。

カラーマネジメントは、オブジェクトタイプ（たとえば、画像、テキストなど）毎に個別に設定できます。

Harlequinは、PDF/XおよびPDF/VT内の出力インテントに従って、さらにPDF 2.0ファイルではドキュメントおよびページレベルの出力インテントに基づいて作用するように設定できるので、カラーマネジメントのいくつかの側面を上流で制御できます。

黒点の補正（BPC）は、すべての入力ファイルタイプに適用できます。さらにジョブレベルでも、もしくはPDF 2.0ではBPC用の新しいオブジェクトレベルコントロールを使用しても設定できます。

Harlequin ColorProの詳細に関しては、

ColorPro: www.globalgraphics.com/harlequin-colorpro

デジタルプリプレス用のカラーマネジメントに関しては、

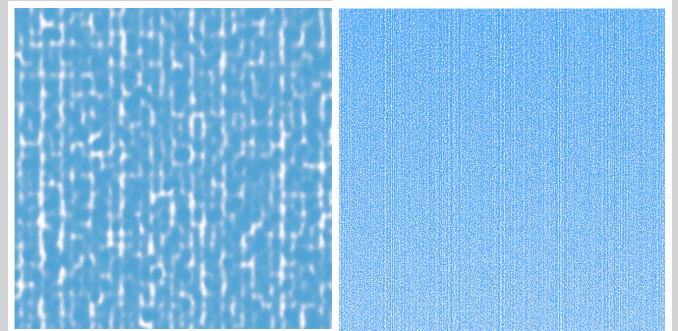
www.globalgraphics.com/color-management-white-paper

スクリーニング

ほとんどすべての印刷技術では、印刷エンジンに送られるデータが着色剤毎に限られた階調値を使用します。その値は、オフセット平版印刷もしくはフレキシソの2値（マーク有り/無し）から、複数のプリントバーで、もしくはスキャニング出力でグレイスケールヘッドを使用するインクジェット印刷機では幾つかの値を使用します。トーン値の数を減らす処理を、スクリーニングもしくはハーフトーンと呼んでいます。Harlequinはラスタをハーフトーンスクリーン処理して、1~15の任意の数のカラーレベルを1、2、または4ビットの出力にパックすることができます。あるいは、ラスタを8ビットまたは16ビットのコントーン（スクリーニングされていない）データとして配信することもできます。

Advanced InkJet Screens

Global GraphicsのAdvanced Inkjet Screens（AIS）は、ストリーキングやモットリングなどの一般的なアーティファクトを軽減するように特別にデザインされています。このスクリーンは、インクジェット印刷の視覚上の品質を向上させ、販売可能性を向上させ、より低コストの媒体の使用を可能にします。Harlequin 13のAISは、インクジェット印刷のアーティファクトを軽減するためOpalスクリーンを追加しました。



Advanced Inkjet Screensは、このストリーキングのようなインクジェット印刷の一般的な問題を軽減するように特別に設計されています。.

Harlequinは、FM（ストキャステック）、AM（コンベンショナル）、およびハイブリッドのハーフトーンデザインもサポートしており、インテグレーターがマルチレベルスクリーンを含む独自のハーフトーンを追加する複数の方法が用意されております。

…トランスプロモ、ダイレクトメール、商業印刷…

Harlequinは、さまざまなオブジェクトタイプ（テキストや画像など）毎に異なるスクリーニングを使用するように設定できます。個々のオブジェクト毎にスクリーニングを上流で設定する必要があるワークフローでは、Harlequinは入力ジョブファイル内のスクリーニング要求を優先できます。

詳細は www.globalgraphics.com/harlequin-screening

品質

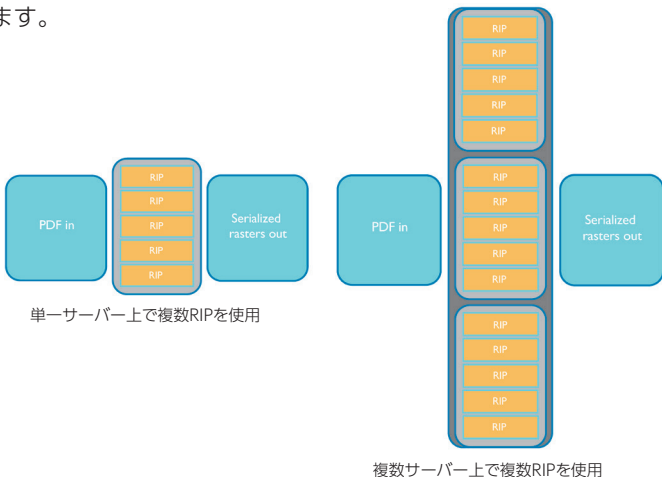
印刷ワークフローが提供できる品質を最大化することは、Harlequinチームにとって非常に重要な分野です。

すべてのカラー値は、ハーフトーンまたは8ビットコントーン出力に量子化されるまで、16ビットの精度で、もしくは浮動小数点で内部的に処理され、滑らかなカラー遷移とブレンドが得られます。比較的低い解像度でレンダリングする場合は、コントーン出力をアンチエイリアス処理し、ページデザインの鋭いエッジを視覚的に滑らかにすることができます。

2002年以降、Harlequinはプロダクション印刷においてライブPDF透明をレンダリングしています。他の着色剤でエミュレートし、実際のスポットインクを使用する印刷機からの印刷出力に一致させるスポットカラーの処理が含まれます。

スケーラビリティの向上

Harlequin Scalable RIPフレームワークは、OEMパートナーに、単一のRIPから、単一のサーバー上の複数のRIP、さらには複数のサーバー上の複数のRIPまで、スケーラブルなアクセスを提供します。すべてのジョブ管理、ジョブ分割、ロードバランス、出力ラスタの順序管理はScalable RIP内で処理できます。つまりOEMは、初期の実装段階で自社開発チームを大幅に拡張することなく、高品質で堅牢なソリューションを迅速に市場に投入できます。

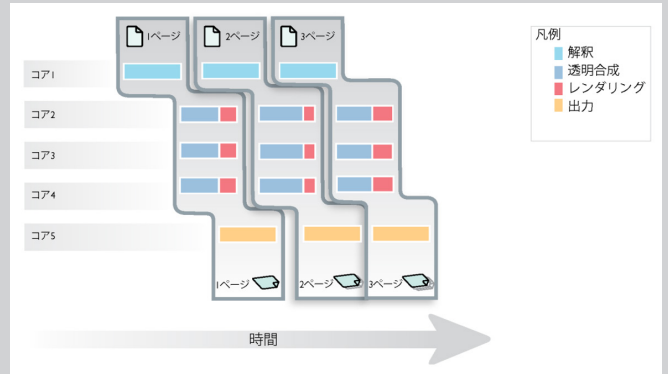


速度

速度はHarlequin開発の重要な焦点です。高速RIPにより、非常に高いデータレートの印刷機をエンジン速度で駆動できるようになり、デジタルフロントエンド（DFE）またはコントローラーの部品コストを削減できるためです。

高速性は以下の方法で実現されています。

- 透明合成や、同時に複数バンドを異なるコアでレンダリングするなど並列化できるプロセスに複数スレッドで対応します。
- 前のページをレンダリングしている最中に次ページを解釈するHarlequin Parallel Pages (HPP)機能に対応しています。



- 高度に最適化されたコード。多くの不要な処理を回避します。
- メモリ管理の柔軟性。RIP後のデータコピーを回避するため。
- 64ビット処理。より大きなメモリ空間へのアクセスで、より効率的なデータ転送を実現します。
- RIP設定、制御、およびトラッキング用に、非常に効果的なインターフェースがあります。

詳細は www.globalgraphics.com/scalable-performance-white-paper

ISO 19593、PDF PROCESSING STEPSのサポート

Harlequinは、ダイや折り線、寸法などのテクニカルなセパレーションを無視するように（またはそれらを独自にレンダリングするように）設定できます。しかしそのためには、PDFを調べ、RIPがそのジョブで使用されているスポット名に合わせて設定されている必要があります。英語だけでも、「dieline」、「Cut」、「CutContour」などの可能性があります。

ISO 19593-1のサポートが追加されました。これは、テクニカルな内容を識別するための標準的な方法を提供します。Harlequin 12.1からは、作成者が使用したスポット名を知らなくても、「処理手順なしでページの内容のみを出力」または「構造化処理手順のみを出力」などの選択ができます。

この機能は、ラベル、パッケージ、大判印刷、および一部の産業用印刷分野で特に役立ちます。

…出版と書籍からラベルとパッケージまで、…

バリエブルデータ印刷 (VDP)

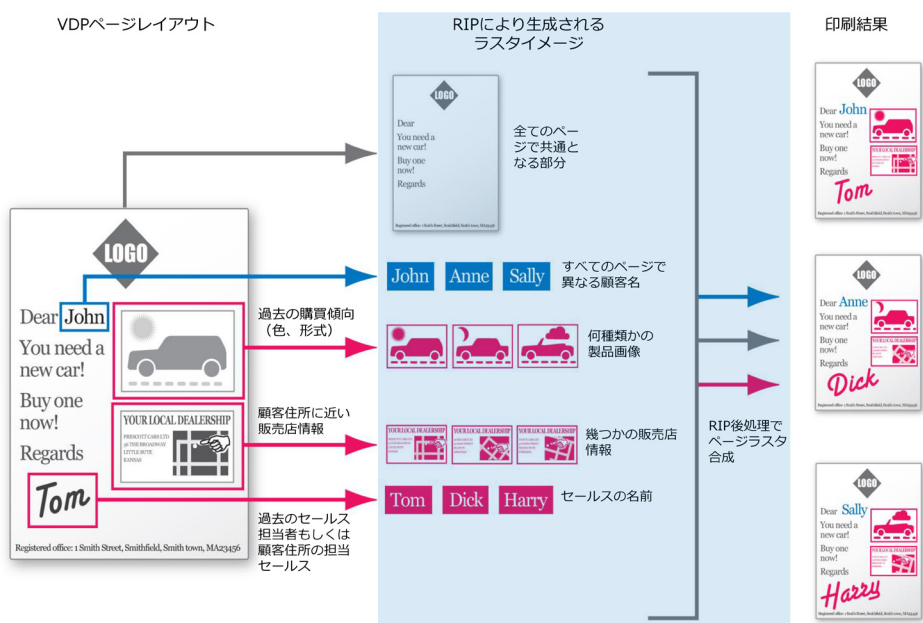
処理速度が特に重要である1つのケースは、バリエブルデータジョブを処理する場合です。すべてのページが異なる場合は、すべてのページをエンジン速度で処理する必要があります。

Harlequin VariData (HVD) は、複数回使用されるグラフィックスをインテリジェントに識別します。PDFファイル内のフォームや画像を単に選択するだけではなく、ページの外観に影響を与えずに効率を最大化するために、可能であればグラフィックスの順序を変更します。どちらも、特にエキスパートによって作成されていないバリエブルデータジョブで、その効果を高めま

自動タイリング

Harlequin v13では、大きなページの自動タイリング機能に対応し、RIPに大量のRAMを用意しなくても大きな出力を処理できるようになり、処理速度を最大化しました。この機能は、さまざまな分野で価値があります。代表的なのは、装飾、テキスト、および段ボールのパッケージですが、PDFページが大きくなる分野でも以下の効果があります。

- 非常に大きな単一ページ処理を複数のRIPに分割して、速度とロードバランシングを改善
- 非常に大きなページを処理するDFEのRAM要件（したがってコスト）を最小限に抑える



HVDは、RIP処理の後で行うページ合成用に部分的なページラスタキャッシュを配送するように構成することも、すべての処理をHarlequin内で完結することもできます。

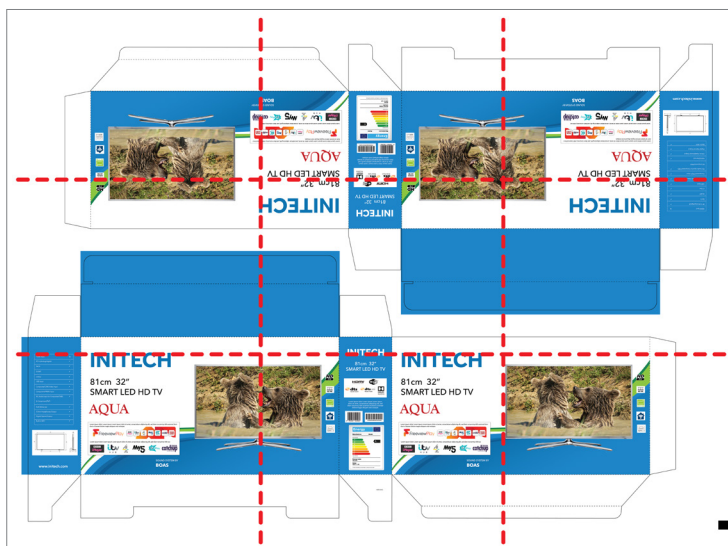
ISO PDF/VT仕様に準拠

Harlequinは、2010年にPDF/VT準拠のソリューションで最初に使用されました。HarlequinはPDF/VT (ISO 16612-2:2010) と完全に互換性があり、その標準の「ヒント情報」を利用して処理速度を向上させます。

- ページ全体のRIP処理の完了を待たずに、印刷機に大きなページラスタの連続ストリーミングを開始
- ポストRIPコンポーネントが特定サイズを超えるラスタを処理できないような非常に大きなページの処理

自動タイリングは、PDFとして送信されたジョブだけでなく、TIFFやJPEGなどの画像形式でも使用できます。

72x98インチ(1.8x2.5m)のシートに面つけされたダンボール箱。1200dpiでCMYKの非圧縮8ビットコントーンにレンダリングすると、ラスタは40GBを超えます。タイルに分割すると、処理を並行して実行し、処理速度を高め、各タイルのピークメモリ使用量を最小限に抑えることができます。



…産業印刷と機能性印刷まで

ワークフロー

Harlequinは、プリプレスおよびデジタル印刷のためのワークフローに完全に適合するように慎重に設計されています。印刷に必要なフォントが埋め込まれていないジョブが入力された場合、不足しているフォントをエミュレートしたり、他のフォントで置き換えたり、不適切な出力を避けるためにジョブを終了したりできます。

ジョブファイル内のスポットセパレーションをブランドカラーとして使用する場合、他の着色剤でエミュレートできます。ダイラインのようなテクニカルなスポットカラーは完全に無視することができ（思いがけないライブグラフィックスのノックアウトを回避します）、またはカッターを駆動するためにベクター形式でエクスポートすることができます。

出カラストをRIP後にさらに処理する場合は、各ピクセルが入力ジョブのどのようなオブジェクトタイプから生成されたか、さらにその時のグラフィックスステートに関する付加的なメタデータを出力するように設定できます。

補完する製品

Global Graphicsは、Harlequinと共に印刷物制作ワークフローで使用できるその他のテクノロジーコンポーネントを開発しました。これらはすべてHarlequinと完全に互換性があり、複数のシステムでアクティブに使用されています。

Makoは、DFEでページ記述言語（PDL）を分析、編集、変換、視覚化するためのツールを構築するための、もしくは上流工程の前処理用のライブラリです。

詳細は www.globalgraphics.com/mako

ScreenProは、下流でのキャリブレーションと印刷バー全幅の均一性を補正するためのPrintFlatテクノロジーを含むスタンドアロンのスクリーニングエンジンです。

詳細は www.globalgraphics.com/screenpro

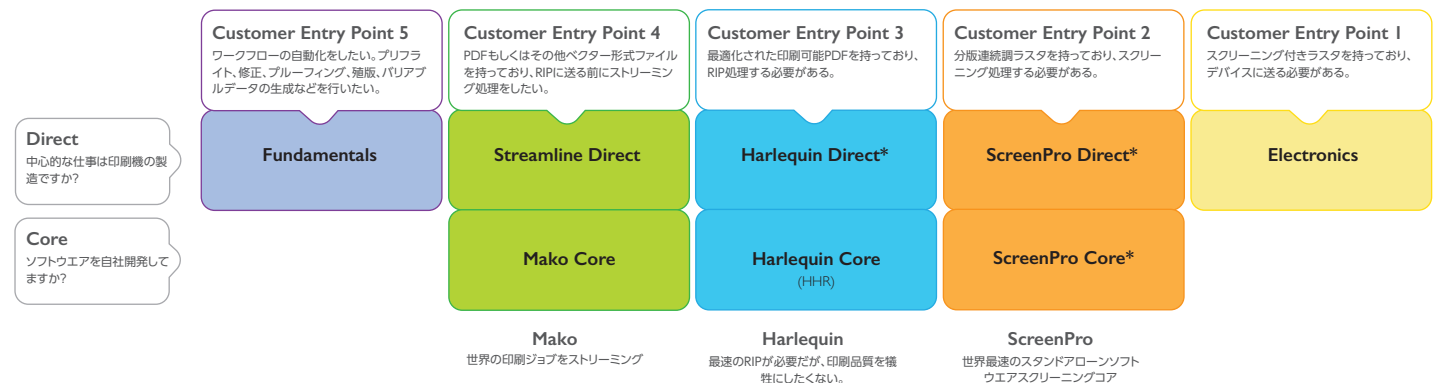
Meteor Inkjetは、主要なプリントヘッドブランドのドライバボードを市場に供給している産業用インクジェットプリントヘッドドライバソリューションの大手サプライヤーです。

詳細は www.meteorinkjet.com

Global Graphicsは、これらのコンポーネントを個別に提供、もしくは並列処理パイプラインとしてパッケージ化されているScreenPro Direct、もしくはHarlequin Directとして提供できるので、OEMは、非常に洗練された高速デジタル印刷機用の高品質なDFEを構築し、市場投入までの期間を短縮し、利益を短期に上げることができます。

詳細は www.globalgraphics.com/direct

Directは、デジタル印刷機の可能性を解放し、次世代の高速、幅広、高解像度デバイスのすべてのソフトウェアの壁を打ち破ります。



* PrintFlatを含む: 印刷品質を一つ上のレベルに押し上げる。

ネイティブ解釈：

- PDF (ISO 32000-1およびISO 32000-2 PDF 2.0を含む)
- PDF/X-1a; PDF/X-3; PDF/X-4 & 4p; PDF/X-5g & 5pg; PDF/X-6形式の処理と検証
- PDF/VT-1; PDF/VT-2; PDF/VT-3形式の処理と検証
- PostScript (EPSとDCSを含む)
- TIFF; JPEG; PNG; BMP

設定可能なコア：

- 不均一なファーストとスローキャンを含む実質的に無制限の解像度
- 超高速印刷機の実装作業を最小化するHarlequin Scalable RIP
- 使用するスレッド数の制御
- 最高のVDP性能を発揮する内部と外部モードのHarlequin VariData
- レイヤーとコア間のインターフェイスを提供するC API
- In-RIPインポジション
- フォント代替とエミュレーション機能
- テクニカルセパレーションのエクスポート
- マルチレベルとシームレスを含む、インクジェット用、スーパーセル、ストキャスティック (FM) 、およびハイブリッドスクリーンが使用可能
- JSON設定のテクノロジープレビューが利用可能

カラー

- モノ、CMYKとスポット、RGB、RGBK、sRGB、CMY、Kとスポット出力、N-color 拡張ガモット (例：CMYKOG、CMYKOGV) 、フォトインク (例：CcMmYKk) のサポート
- 出カラスタ深度： 1, 2, 4, 8, 10, 12 もしくは 16 ビット
- プレーナー、セパレート、フレームインターリーブ、バンドインターリーブ、ピクセルインターリーブ出力
- 内部カラーマネジメント対応、(ICC 4.0) および/または CMM APIを通してOEM定義
- 下流工程でのカラーマネジメントもしくはスクリーニング処理等で使用されるオブジェクトマップデータの出力
- 複数のキャリブレーションカーブオプション
- バリエーションデータ印刷用にラスタのポストRIP合成を可能にするためにマスクデータを出力
- スポットには白、ニス等を含みます；セパレーションは明示的に、もしくは自動的に除外可能

クロスプラットフォームのサポート

- 現在32ビットと64ビットのMicrosoft Windows, 64ビットのLinuxとmacOSをサポート。もし他のオペレーティングシステムへの要求があれば、お尋ねください。

エキスパートと協業してください

Global Graphics Softwareは、デジタル印刷のための革新的なコアテクノロジーを開発しています。レンダリング、スクリーニング、カラーマネジメント用のさまざまな技術を通じ、HP、Canon、Roland、Durst、Delphax、Kodakを含む世界の主要ブランドが販売するソリューションに付加価値を提供しています。Global Graphics Softwareは、Euronext (HYSG) に上場しているHybrid Software Group PLCの子会社です。

お客様がGLOBAL GRAPHICSを選択する理由：

- 当社のソフトウェアは技術的に優れており、競合他社よりも高速に動作するから
- ソフトウェアの革新者だから
- 柔軟でオープンな商用モデルがあるから
- 開発へのパートナーシップアプローチがあるため、作業が簡単だから
- 優れた技術サポートを提供しているから

2024年1月 v12

連絡先：
sales@globalgraphics.co.jp

Global Graphics Software Inc
6601 S Tamiami Trail
Suite 176
Sarasota FL 34231 USA

Global Graphics Software Ltd
Building 2030
Cambourne Business Park
Cambourne, Cambridge
CB23 6DW UK
Tel: +44 (0)1954 283100

グローバルグラフィックス株式会社
〒100-0014
東京都千代田区永田町2-17-17
アイオス永田町613
sales@globalgraphics.co.jp

www.globalgraphics.co.jp

Harlequin, Harlequinロゴ, Harlequin Parallel Pages, Harlequin VariData, Harlequin Contour Processor, Harlequin ColorPro, Harlequin Scalable RIP, PrintFlat, ScreenProおよびMakolaは、Global Graphics Software Limitedの商標で、特定の法域で登録されている場合があります。Global Graphics Softwareは、Hybrid Software Group PLCの登録商標です。Adobe, Adobeロゴ, Acrobat, Illustrator, Photoshop, InDesign, Creative Cloud およびPostScriptは、Adobe Inc. の商標で、特定の法域で登録されている場合があります。その他すべてのブランド名および製品名は、それぞれの所有者の登録商標または商標です。

Copyright © 2024 Global Graphics Software Ltd. All rights reserved.